

皆様

金沢市では、ユネスコ・クラフト創造都市の登録認定を受けて、創造都市・金沢にさらなる磨きをかける取り組みを推進しています。

今回は、皆さんに、金沢市の「北陸新幹線金沢クラフト活用研究会」についてお知らせします。

北陸新幹線は、日本の首都である東京を起点として、長野、上越、富山、金沢、福井等の主要都市を經由し、新大阪に至る延長約700kmの路線であり、

金沢市は、日本を代表する観光地を通る「観光のゴールデンルート」と位置付けています。

また、北陸新幹線は、日本の高速交通体系の柱として、交流人口の増加による経済効果や、まちの賑わい創出などのほか、二酸化炭素の削減などの環境面の効果も期待される一大国家プロジェクトです。

「北陸新幹線金沢クラフト活用研究会」は、金沢美術工芸大学の先生方、工芸やデザインの専門家により設置され、2014年度末に迫った、この北陸新幹線の東京・金沢間の開業を見据え、新たに導入される新幹線車両の内装に、金沢市の伝統工芸の活用を検討しているものです。

昨年、4月に初会合を開いた同研究会は、会合を重ねて、デザインコンセプトや基本構想、具体案をまとめ、先日、金沢市から営業主体であるJR西日本に提案しました。

デザイン案は、「金沢の伝統的なものづくりの美意識を現代の感性で表現する」などをテーマに、金沢の伝統工芸を象徴する色彩である加賀五彩のうち、臙脂と古代紫をイメージカラーとし、古代紫色のカーペットを敷き、座席のヘッドレストは、臙脂色を施しています。また、室内ドアの装飾には加賀友禅や金箔箔、座席の肘掛けには「漆」を配しています。

多様な伝統工芸を有するクラフト創造都市・金沢の提案が採用されるよう願っていますが、このことによって、金沢の伝統工芸の国内外への発信と活性化につながることを期待しています。

北陸新幹線金沢開業の際には、皆様、是非、ご乗車下さいませ。

今後とも、創造都市・金沢は各種の実践的な取り組みを推進し、国内外へ発信していきたいと考えております。

皆様におかれましては、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

それでは、皆様がますますご健勝にてご活躍されることを願って、日本国金沢市創造都市推進担当より。

